

## 令和7年度 学校評価・生活習慣アンケートの報告について

12月末に行ないました「学校評価アンケート」にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

今回は全家庭数(149家庭・全園児171名)の7割(106名)近い保護者から回答(回収率:71%)をいただきました。アンケート結果につきましては、下記の通りですでのどうぞご覧下さい。

アンケート項目の全体を見て、すべての項目で7割以上の方が「とてもそう思う」「おおむねそう思う」と肯定的に評価していただいている事につきましては、非常に嬉しく思っています。またコロナ禍ではありますが「園は保護者を通じて関わりあえる場となっているか」についての項目で、昨年度よりも少し改善している様子が見られました。大切な項目の一つですので、よりよくなるように園としてできそうな活動を検討したいと思います。

自由記述欄は、昨年度より多く記入いただき、その中でのお褒めの言葉や、ご意見がありました。この内容をしっかりと吟味し、当学園の良さをさらによくする改善、あるいは皆様にお伝えできていない部分の伝達をしながら、より保育の質向上を目指してゆきたいと思っております。

また生活習慣アンケートでは、夕食時間が早い人と遅い人の二極化が進みだしたように見受けられました。

今後もこれらを参考に、子どもの生活をとらえ直し、園の保育に役立てたいと思います。

本当の意味で「子どもを中心とした保育」を実現するには、保護者の皆さんと学園が保育を行う意図を共有して初めてなされます。

## 令和7年度 保護者アンケート

配布数 149 家庭

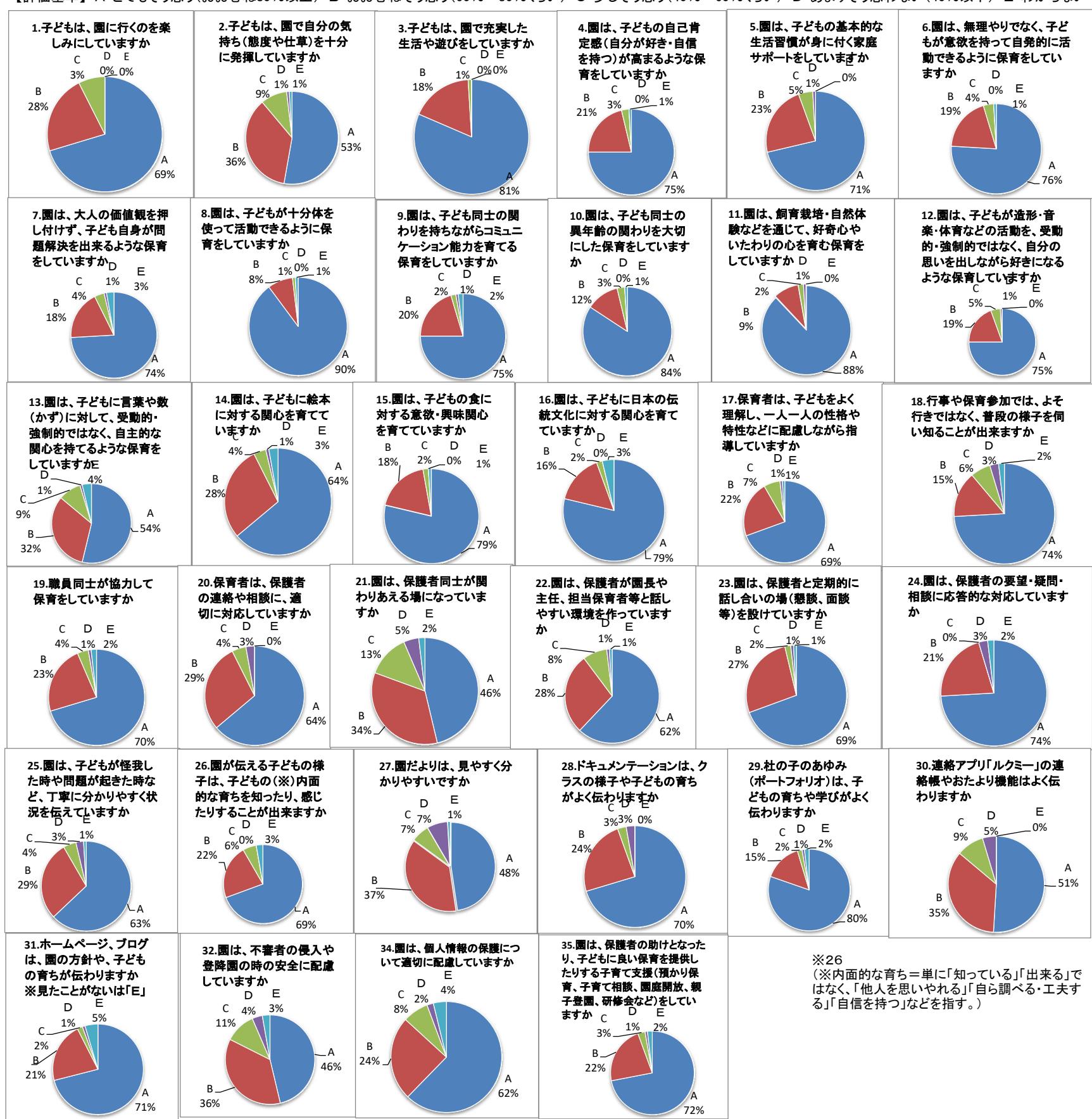
回収数 108 家庭

回収率 72%

1号	51	(内就業家庭)	12	2号	36	3号	21	無記名	0	合計	108	1号就労率	24%
----	----	---------	----	----	----	----	----	-----	---	----	-----	-------	-----

※兄弟関係は、上の子の学年でカウントしています。

【評価基準】 A=とてもそう思う(おおむね80%以上) B=おおむねそう思う(60%~80%くらい) C=少しそう思う(40%~60%くらい) D=あまりそう思わない(40%以下) E=わからない



※26

(※内面的な育ち=単に「知っている」「出来る」ではなく、「他人を思いやれる」「自ら調べる・工夫する」「自信を持つ」などを指す。)

# 子どもの生活習慣に対するアンケート結果

昨年度の内容を、AI「Gemini」を使用して分析した内容を掲載しております。

厚生労働省のこどもにおける年齢別の推奨睡眠時間は、「1~2歳児は11~14時間、3~5歳児は10~13時間、小学生は9~12時間」とされています。

(以下分析内容)

アンケート結果からは、「規則正しい睡眠習慣の定着」と「放課後の過ごし方の変化(習い事の増加)」という2つの大きな特徴が見えてきました。

## 1. 睡眠と食事: 夜のルーティンがより規則正しく

就寝時間の改善: 昨年度見られた22時以降の「夜更かし層」が減少し、多くの家庭で20時~21時台の就寝が定着しています。

夕食時間の固定化: 夕食の時間は18時30分~19時に集中するようになりました。

起床時間の変化: 寝る時間は早まっていますが、起床時間は昨年度の「7時頃」から、今年度は「7時半~8時頃」へと少しづつかかる傾向が見られます。

## 2. 降園後の過ごし方: 外遊びから「学び」と「室内」へ

遊び時間の減少: 降園後の自由な遊び時間が30分以下という回答が最も多くなりました。

遊び場の変化: 遊び場は「自宅」が中心であり、公園や神社などの外遊びの頻度は昨年度よりやや低下しています。

習い事の増加: 特に1号認定(幼稚園枠)の4・5歳児において、習い事を2つ以上掛け持つ子どもが目立っています。

## 3. 人間関係: 家族との濃密な時間

